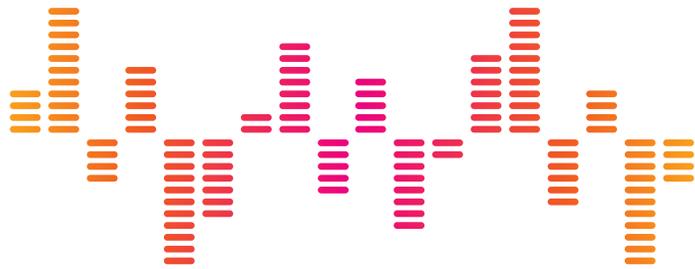


Pioneers

データの時代を生きる

先進的な組織のデータ活用事例

splunk >



目次

パート1：大転換の時代

はじめに.....	3
新しい道を切り開く.....	5
データがすべてを進歩させる.....	6
ビジネスインサイト：Domino's社、Porsche社.....	7
DevOps：Arlo社、PSCU社.....	9
IT運用：米国国勢調査局、Global Emancipation Network.....	11
セキュリティ：Mars社、Intel社.....	13

パート2：先進的な企業の事例

金融サービス	テクノロジー
● ● auカブコム証券..... 17	● ● Intel社..... 33
● ● イングランド銀行..... 18	● ● Lenovo China社..... 34
● ● Aflac社..... 19	● ● スクウェア・エニックス..... 35
● ● PSCU社..... 20	
製造	通信/公益事業
● ● ● Porsche社..... 22	● ● Puget Sound Energy..... 37
● ● 日光ケミカルズ..... 23	
● ● Zeppelin社..... 24	
公共機関	旅行/輸送
● ● ● 米国国勢調査局..... 26	● ● ● Hyatt Hotels社..... 39
● ● NIF..... 27	● ● ● ガトウィック空港..... 40
	● ● ● ドバイ空港..... 41
	● ● ● Sapura社..... 42
小売	
● ● ● Domino's社..... 29	
● ● REI社..... 30	
● ● アシックス..... 31	

解決の鍵

- セキュリティ
- IT運用
- DevOps
- ビジネスインサイト

大転換の時代

組織はかつてないほど緊張を強いられています。

新型コロナウイルスの感染拡大から、大規模な自然災害、規制の強化、政治的対立まで、企業や公共機関は前例のない変化と課題に直面していますが、それはチャンスでもあります。

デジタルトランスフォーメーションが加速する数年を経て、ついに「Data Age」、データの時代が到来しました。データの時代ではユビキタスで相互に連携するデジタルテクノロジーが、ビジネス、生活、社会のあらゆる場面でデータを活用して適切な判断を支援します。この新たな現実をもたらす苦難と可能性は、かつてない速さで競争環境を再定義し、顧客の期待を高めて、破壊的イノベーションを生み出しています。

そして、そのすべての中心にあるのが データです。

近年、データの量と価値が増大し、それによって広がり続けるチャンスをつかむべく、あらゆる業界の組織が変革に取り組んでいます。Splunkの委託でTRUE Global Intelligenceが実施した調査をまとめた『Data Age - データの時代が到来 データの時代に備える』レポートによると、調査対象となった組織の3分の2が、2025年までにデータの量が約5倍に増えると予測しています。一方で、差し迫ったデータ急増に対する準備ができていると回答したIT/ビジネスマネージャーはわずか14%にとどまりました。

Splunkが見た「成功する組織」はいずれも、問題解決、意思決定、ビジネス戦略にデータを活用することで、期待の変化に対応して進化し、新たな可能性を追求して、優れた成果をあげています。データの時代を開拓するこれらのパイオニアは、意思決定をリアルタイムで行い、トレンドを予測して、効率を向上させることで、顧客やエンドユーザーに高い価値を提供しているのです。

データの時代は、多くのリーダーと組織にとって大転換の時期になる可能性があります。

調査対象となった組織の3分の2が、
2025年までにデータの量が約5倍に
増えると予測



5倍

新しい道を切り開く

Splunkのお客様はこの大転換の最前線に立ち、Data-to-Everything™プラットフォームを活用して、自らの組織と顧客をより深く理解し、顧客からの信頼を築いて、変化し続ける環境に適応しようとしています。

Porsche社、NASDAQ、REI社をはじめとするSplunkの多くのお客様が、俊敏性に優れたクラウド環境を倍に拡大し、機械学習やIoTなどのテクノロジーを取り入れると同時に、IT運用やセキュリティといった基本的な要素に投資し続けています。統合的なアプローチによってチーム間の壁を取り払い、データを共有することで、新しいデジタル製品の開発およびリリースプロセスでのDevSecOpsの実践から、オムニチャネルのカスタマーエクスペリエンスの高度なパーソナライズまで、データを幅広く活用しています。

あらゆることにデータを活用することで、あらゆることが可能になるということを、これらのパイオニアが証明しているのです。

国や業界を問わずあらゆる組織が、データを行動につなげる際の障壁を解消して、優れた成果を達成しようとしています。



約70年の歴史を持つ非営利組織、Compassion Internationalは、機械学習とデータ処理を活用して、毎年200万人以上の子供たちを貧困や人身売買から救っています。



世界一の売上を誇るピザチェーンは、世界各国に展開する1万6,300の店舗と16のデジタル注文チャンネルでデータを活用して、高い品質と利便性を実現し、優れたカスタマーエクスペリエンスを提供しています。



ある公立大学は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、6万人の学生と教職員が利用するリモート学習環境を、信頼性と安全性を確保しながら、わずか2週間で構築しました。

データがすべてを進歩させる

「すべて」ではあいまいなので、もっと具体的に説明しましょう。以下のページで紹介する先進的な組織は、ビジネス、セキュリティ、IT、DevOpsにデータを活用してチーム間の相互連携を強化し、成功へとつなげています。これらの組織は基幹業務への投資を続けながら、ユースケースを拡大して新しい機会を開拓しています。

その過程で、インフラのセキュリティ確保と顧客ベースの維持、稼働時間の維持と売上の拡大、プロセスの自動化と組織の自発的な発展にも取り組んでいます。

ビジネスインサイト

新規顧客の開拓、製品戦略の周知、マーケティング効果の測定、販売動向の予測のいずれにおいても、組織の成功にデータは欠かせません。Splunkのお客様は、ビジネスインサイトの価値を理解し、データを行動につなげて、運用の最適化、売上の拡大、より良いサービスの提供を実現しています。

Domino's社：満足度の高いオムニチャネルエクスペリエンスを提供

ピザとデータは考えられない組み合わせ。少なくとも10年前までは、人々はそのように認識していました。ピザチェーンがデジタルトランスフォーメーションに投資をしていなかった頃の話です。しかし、Domino's社は違いました。

「たまたまピザを販売しているeコマース企業」と自称するこの世界的なピザチェーンは、デジタルチャネルとエマージングテクノロジーを重視する経営へとシフトしました。今日、世界一の売上を誇るDomino's社は、Splunkプラットフォームで得たインサイトを活用して、情報に基づく意思決定を行い、イノベーションを推進して、スピード、品質、利便性に対する顧客の欲求を満たしています。

Domino's社は現在、スマートTV、スマートウォッチ、スマートフォンアプリ、Slack、ソーシャルメディアを含む16種類のデジタル注文チャネルを展開しています。米国内ではデジタルチャネルからの注文が売上全体の65%を占めます。同社でオペレーショナルインテリジェンスアーキテクトを務めるMike Cox氏は、Splunkはあらゆるリアルタイムトランザクションで役に立っていると言います。「注文やサービス、Webサイト、アプリケーションで何が起きているのかがわかります。それらのデータを集約することで、国内外のプロセスを改善できます」

**Domino's社の米国での売上の65%が
16種類のデジタル注文チャネルから
行われている**

Splunkは、eコマース、デジタルインフラストラクチャから、マーケティングや店舗内エクスペリエンスに至るまで、Domino's社のあらゆるチームにデータを提供しています。「弊社では考えられるあらゆる方法でデータを使用しています」と、情報セキュリティ担当バイスプレジデントのAlex Padilla氏は説明します。「投資や予算、テクノロジーに関する意思決定や、ツールやプロセスの効率性の測定にもデータを使用しています。また、新しいテクノロジーを構築するため、そして新しい顧客アプローチを提供するためにもデータに目を向けています」

誰もが同じツールを使って同じデータを見ているため、チーム間のコラボレーションが向上し、経営幹部とインサイトを容易に共有できます。これがDomino's社の成長と首位の座の維持につながっています。もちろん品質を犠牲にすることはありません。





データなくしてインテリジェントなパフォーマンスは実現できません”

— Porsche社テクノロジー / アクセラレーション/ マネージメント部門責任者、Stefan Arnold氏

ジャーニーの分析を強化し、Splunkソフトウェアを使用して、デジタルジャーニーの中で起こる問題を、お客様に影響が及ぶ前に防止しています。ソフトウェアを使い慣れるにつれて、社内でのユースケースが拡大しています。Splunkのおかげで、今ではあらゆる業務でデータ活用が進んでいます」

Porsche社の最新のイノベーションは、同社初の電動スポーツカー、Porsche Taycanです。デジタルテクノロジーと物理的な接点をシームレスに融合するために、Splunkプラットフォームを活用して、世界各国にある2,000以上の充電ステーションでデジタルカスタマーサポートを提供し、データに基づいてドライバーを最適な充電ステーションに案内します。「Splunkを活用してデータを行動につなげる、それがポルシェのスタイルです」と、Arnold氏は語ります。



Porsche社：未来への加速

「最後に残るクルマとはスポーツカーである」この哲学こそ、パフォーマンス、デザイン、テクノロジー、イノベーションにおいて数十年にわたって世界トップクラスの地位を守り続けるPorsche社の原動力です。同社は常に時代を先取りするために、データを活用することで、ポルシェブランドを象徴する先進的でぜいたくなエクスペリエンスを提供し、消費者の期待に応える必要がありました。

「当社でも他のほぼすべての企業でも、近年急速にデータがビジネスの中核を担うようになりました」と、同社でITサービスマネージャーを務めるTim Klapper氏は言います。「当社では、パフォーマンスを一層高め、さらに多くのインサイトを取得し、よりの確かつインテリジェントな意思決定を行うためにデータを活用しています」。テクノロジー / アクセラレーション/ マネージメント部門責任者のStefan Arnold氏も「データなくしてインテリジェントなパフォーマンスは実現できません」と同意します。

Porsche社ではSplunkプラットフォームを利用して、運転性能はもちろん、それ以外の部分でもパフォーマンスを加速させています。その一例がPorsche Connectアプリの展開です。このアプリを使えば、走行距離の確認から、エアコンの制御、車のドアのロック/ロック解除まで、ドライバーが車両をリモート操作できます。「今日、当社のデジタルサポートはSplunkに依存しています」とKlapper氏は説明します。「イベントログとカスタマー

DevOps

今日の市場では瞬発力が求められます。消費者は、アプリケーションが直感的に操作でき、サービスが効率的で信頼性が高く、いつでも利用できることを期待しています。こうした期待に応えるために、DevOpsチームは、オンプレミスのインフラからクラウド環境までのテクノロジースタック全体を可視化することで、高いパフォーマンスを維持し、ダウンタイムを防止して、組織や顧客に影響が及ぶ前にインシデントを解決する必要があります。

Arlo社：顧客の期待に対応

Arlo社は、ユーザーが大切な人や場所を見守り、つながりを保てるよう支援する、実績あるIoTデバイスを提供しています。ワイヤレスセキュリティカメラから高度なベビーモニターまで、同社の製品を利用するユーザーは約100カ国の340万世帯に及び、そのすべての製品が安全かつ適切に機能することを保証する必要があります。そのため課題となるのは、データへの簡単なアクセスとエンドツーエンドのオペラビリティを確保することです。

Arlo社は、システムの調査と監視を効率化するためにSplunk Cloudを導入しました。これによってチームはITインフラのメンテナンスにかかる時間を節約して、イノベーションや戦略的業務に集中できるようになりました。日常業務のワークフローに対するSplunkの導入効果はすべてのチームに波及しています。以前使用していたツールでは、本番環境でのインシデント1件あたりの平均調査時間(MTTI)が数日に及ぶことがあり、生産性が大幅に低下し、チームメンバーの間で不満が溜まっていました。しかしSplunkを導入した結果、MTTIが数日から数時間、多くのケースでは数分にまで短縮されました。



以前は可視性が不足しており、迅速に対応することができませんでした。しかし、Splunkのおかげで製品や機能をスピーディーに開発し、確実かつ迅速にリリースできるようになりました”

— Arlo社クラウドプラットフォームエンジニアリング担当バイスプレジデント、Jishnu Kinwar氏

目次

社内運用を最適化することにより、Arlo社のDevOpsチームとQAチームは、生産性を向上させ、イノベーションを加速させて、問題の修正時間や新製品や新機能の市場投入までの時間を短縮できました。「以前は可視性が不足しており、迅速に対応することができませんでした」と、クラウドプラットフォームエンジニアリング担当VPのJishnu Kinwar氏は言います。「しかし、Splunkのおかげで製品や機能をスピーディーに開発し、確実かつ迅速にリリースできるようになりました」。

Arlo社は、インフラ監視と予測分析に関する新しいユースケースの開拓を続けています。現在は、Splunkプラットフォームの機械学習を活用してデータの異常値を検出していますが、今後は、その用途を時系列予測と自動スケーリングモデルにも拡大して、将来のトレンドを予測し、キャパシティプランニングをプロアクティブにできるようにする予定です。





Splunkプラットフォームによって
平均確認時間を

**4時間から
2分以内に短縮**

PSCU社：俊敏性向上への投資

PSCU社は、支払いや融資などの金融サービスをオンラインで行うためのホワイトラベルアプリケーションを提供し、1,500以上の信用組合による年間約40億件の取引をサポートしています。銀行に対する信用組合の競争力を高めるため、PSCU社は、主要なITパフォーマンス指標を向上させることに重点を置きました。たとえば、アラート生成から対応開始までの平均時間を示すMTTA(平均確認時間)を短縮すれば、インシデント対応の開始を早め、結果としてMTTR(平均修復時間)の短縮につなげることができます。そのため、MTTAはダウンタイムの削減に重要な指標です。

この目標を達成するために、PSCU社は、Splunkプラットフォームを導入して、シームレスなセキュリティ監視とPCI(ペイメントカード業界)のコンプライアンスの確保に着手しました。インシデント管理ソフトウェアのSplunk VictorOpsを利用して、インシデント管理のルーティング、コラボレーション、レビューに豊富なインサイトを取り入れ、プロセスを自動化することによって、オンコールチームによる問題の検出と修復を迅速化し、説明責任に関する課題を解消しました。これらの新機能を追加したことにより、MTTAを4時間から2分以内に短縮することに成功しました。

今日では、品質保証チームとDevOpsチームが、パフォーマンスの低下をプロアクティブに検出して障害を未然に防ぐためにSplunkプラットフォームを活用しています。IT運用での活用を出発点として、その先を見据えるPSCU社は、現在、Splunkのマシンデータ分析とVictorOpsのインシデント対応を組み合わせることにより、DevOpsチームのイノベーションを促進して俊敏性を高め、カスタマーエクスペリエンスを向上させるための、包括的なエンゲージメントプラットフォームの構築に取り組んでいます。

IT運用

拡大し続ける異機種混合のインフラが複雑さを増す中で、ITチームは、問題に未然に対処しながら従業員と顧客に価値のあるサービスを提供するという難しい課題を突き付けられています。Splunkのお客様は、データの時代をチャンスと捉え、最新テクノロジーを導入し、プロセスの自動化を進めて導入効果を高め、組織全体の効率と連携を強化することによってこの難題に立ち向かっています。

米国情勢調査局：10年間の変化を記録

米国情勢調査局には、国民と経済に関する質の高いデータを国の代表として提供するという非常に複雑なミッションが課せられています。

同局は10年に1度、米国の全人口と全世帯の正確な数を調査します。つまり、国の隅から隅まで住民の数を1人ずつ数えるということです。2020年には米国初のデジタル国勢調査が行われます。その任務をより効果的かつ効率的に遂行するために、同局はSplunkプラットフォームを導入しました。

2020年の国勢調査では、35種類の事業と52のシステムによって、人事と給与から、すべての州と海外領土に籍を置く全世帯を対象とした全国的な取り組みの調整まで、すべてをサポートします。それでも、デジタルトランスフォーメーションとデータ処理の改善の効果でシステム数は2010年よりも減ったため、パフォーマンス、精度、効率が向上し、税金の使い方を最適化できる見込みです。

Splunkは、この巨大データプロジェクトをさまざまな面から支えています。現場作業では、ソースの異なる住所リストの統一、衛星データを活用した自宅訪問の削減、フィールドデータ統合の効率と精度の向上を支援します。また、バックエンドでは、自動化とデジタルワークフローによって人材の募集、採用、給与支払いを効率化することで、6,000人の訪問調査員を雇用して配置するという大きな課題を解決します。



米国情勢調査は、公共政策を方向付け、6,750億ドル以上の政府資金の配分を決め、次の10年間の政治地図を描き直します。

2020年には、米国で初めてオンラインによる国勢調査が導入されます。新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、このオンライン調査の成功は国勢調査局にとって大きな転換点となります。そこでSplunkと協力して、冗長構成によって信頼性を高めたITシステムとインフラを構築すると同時に、サイバーセキュリティプログラムに多層防御を取り入れて現在の危機に対応できる体制を整えました。国勢調査局は、この任務に取り組みながら、Splunkによってデジタルトラフィックの監視とITシステムのリアルタイム監視を実現し、激動する世界でリーダーが情報に基づいた意思決定を行えるよう支援しています。

Global Emancipation Network：人身売買と戦う

毎年推定4,500万人の犠牲者を出す人身売買は人権の重大な危機です。Global Emancipation Network (GEN)はこの問題の解決に取り組んでいます。

「人身売買は人道上の惨劇であると同時に、違法な経済活動でもあります。性的搾取や強制労働の需要を満たすために誰かが商品を購入しているのです」と、GENの創設者兼エグゼクティブディレクターであるSherrie Caltagirone氏は説明します。「その取引の多くはデジタルの痕跡を残します。そのため、人身売買との戦いはデータとの戦いです。私たちが人身売買を阻止するために日々行っている仕事の99.9%はデータアクセスに関するものです」

とはいえ、従来の分散しサイロ化したデータにアクセスすることは極めて困難です。GENでは、より正確な分析に基づいてアクションを引き出すために、データを効率的に収集し、システムを合理化する方法を必要としていました。そこで、2016年の創設当時、GENはデータプラットフォームとしてSplunkを選択しました。それ以来Splunkは、GENのミッション遂行の基盤として活用されています。



私たちが人身売買を阻止するために日々行っている仕事の99.9%はデータアクセスに関するものです”

— Global Emancipation Network創設者兼エグゼクティブディレクター、Sherrie Caltagirone氏

目次



Splunkの支援の下で、GENはMinervaを開発しました。これは、安全で個別化されたデータ共有とインテリジェントな分析を可能にするマルチテナント型のデータ分析プラットフォームです。この強力なプラットフォームは、Splunkを活用して、数百のソースから雑多な非構造化データを取り込み、ユーザー名、メールアドレス、電話番号、テキスト、画像を相互に関連付けます。同じことを手作業で行うのは困難であるか不可能でしょう。

GENは、この世界的な問題に関するデータを関係者に提供することで目覚ましい成果をあげています。GENのデータのおかげで、昨年だけでも7カ所で人身売買の現場を取り押さえて数十人の犠牲者を救出することに成功したほか、これまでに2万2,000の違法マッサージ店で1万件以上の人身売買活動を摘発して違法マッサージ業界を牽制することができました。前途にはさらに多くの希望が満ちています。人身売買を世界規模で摘発および阻止するため、Minervaは今日、GENとSplunk for Goodを通じて世界中の政府と警察、NGO、学界、民間組織に無料で公開されています。

セキュリティ

どの組織でも、たった1回のセキュリティ攻撃が機能を麻痺させ、リソースを浪費して、顧客のロイヤリティを低下させ、ブランドの評判に傷を付ける可能性があります。先進的な組織は、リアルタイムデータを活用してセキュリティ防御を強化し、脅威をより迅速に検出、調査、解決しています。

Mars社：適切なインサイトを取得

1911年設立のMars社は、時代に適応することについては知識も経験も豊富です。米国最大規模の株式非公開企業である同社は当初、マースバー、ミルクウェイバー、M&M's、スニッカーズなどの人気菓子メーカーとして名を馳せました。その後数十年にわたり、優れた買収戦略を積極的に展開して、世界的チューインガムメーカーのWrigley Jr. Company社から動物病院大手のVCA社まで、さまざまな企業を獲得して事業を大幅に拡大してきました。

この野心的な買収戦略を成功させるには、新たに獲得した組織を早期に戦力化すると同時に、既存のセキュリティサービスとIT監視サービスを迅速かつ大規模に拡張する必要があります。新しい子会社の独自のインフラやクラウドインスタンスを取り込むと、当然、管理が難しくなります。これは特にセキュリティの点で重大な問題です。そこでMars社は、Splunk Data Stream Processor (DSP)を導入して、各子会社が使用するさまざまなツールと各社のセキュリティオペレーションセンター (SOC)が扱うセキュリティ関連データを集約する単一のリポジトリを構築しました。情報を一元化することにより、トラブルシューティングを迅速化し、全体的なセキュリティ体制を強化しました。

Mars社のように多様なデータソースとその管理プラットフォームが混在する場合、社内のデータニーズに対応するには適切なプラットフォームの導入が欠かせません。「さまざまなチームが、各種のシステムとプラットフォームを監視するために、応答性とアクセス性に優れたダッシュボードやメトリクスを必要としています。DSPはその要求を満たしてくれます」と、情報セキュリティ担当エリアーダーを務めるGreg Poniatowski氏は言います。

当初、セキュリティとIT運用の基盤として導入されたSplunkは、その後すぐにビジネス分析のデフォルトツールとして利用されるようになり、今日では、Mars社のイノベーションの促進と世界での競争力強化を支えています。「Splunkを使い続けるうちに、Splunkこそがさまざまな問題に対応できる解決策だと確信するようになりました」と、セキュリティ分析シニアリーダーのAntonio Guedes氏は言います。「今では300名を超えるユーザーがSplunkから自分自身でインサイトを引き出しています」



さまざまなチームが、各種のシステムとプラットフォームを監視するために、応答性とアクセス性に優れたダッシュボードやメトリクスを必要としています。DSPはその要求を満たしてくれます”

— Mars社情報セキュリティ担当エリアーダー、Greg Poniatowski氏



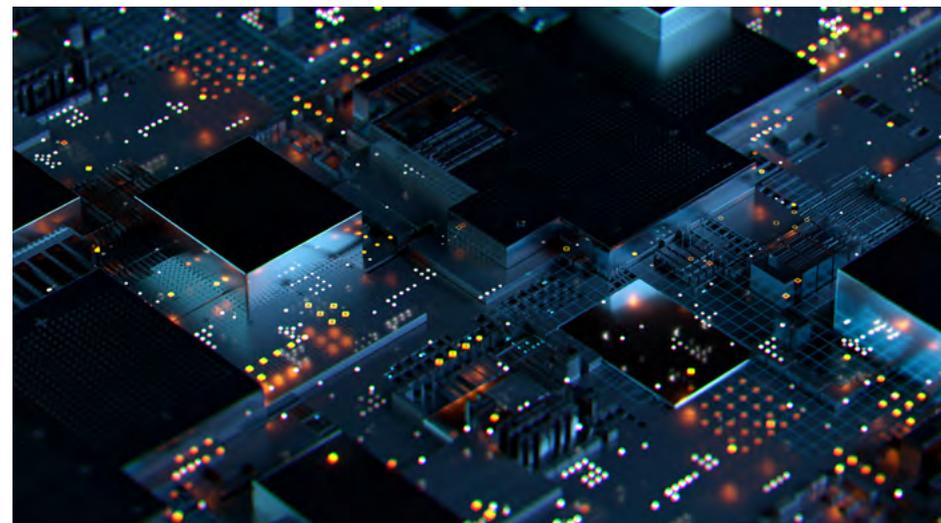
Intel社：脅威の捕獲方法を変革

PC中心の企業だったIntel社は、時間をかけて革新的な方法で新製品を開発し、新しい市場に参入して新たな顧客を獲得することで、データ中心の企業へと変貌を遂げました。データを重視し、データへの依存を高めるため、同社の情報セキュリティ (InfoSec) チームは包括的な「多層防御」戦略を策定し、管理する必要がありました。チームはさまざまなレベルで脅威防止/検出ツールを自動化して、社内環境の99%の脅威に対処できるようになりましたが、残り1%を埋めることができずにいました。

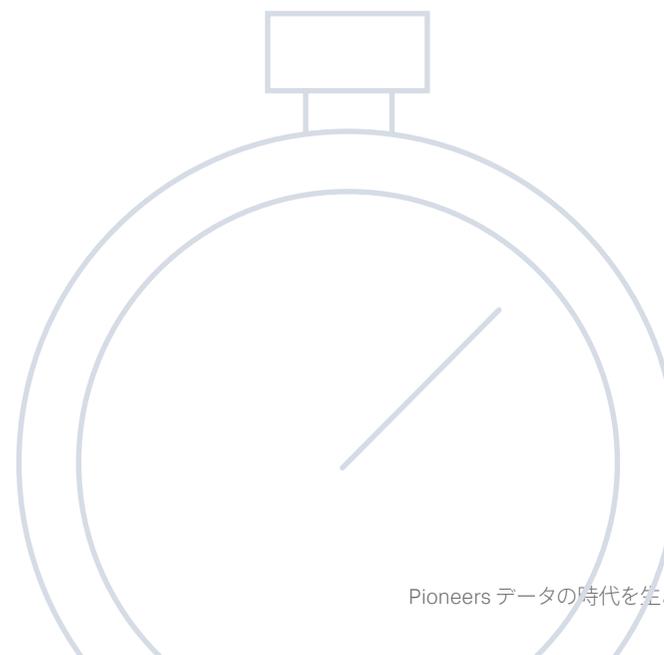
当時使用していたSIEM (セキュリティ情報/イベント管理)ソリューションでは、増え続けるデータタイプに対する需要の高まりに対応できず、InfoSecチームは、組織の環境に入り込もうとする高度な脅威を検出するための戦略を策定する必要に迫られました。この戦略は「1%の捕獲」と呼ばれています。この戦略によって、Intel社のCyber Intelligence Platform (CIP)が生み出されました。これはSplunkやApache Kafkaなどの最新鋭テクノロジーを中心としたプラットフォームです。

Splunk Data-to-Everythingプラットフォームと多数のサードパーティツールを組み合わせることで、豊富なコンテキストが共通の画面上に可視化されます。これによりInfoSecチーム全体の有効性が向上しました。脅威を検出して対応するまでに、以前は数週間から数時間かかっていましたが、現在は数時間から数分にまで短縮されました。

同社のInfoSecチームによるSplunkとKafkaの使用は拡大しています。アナリストとデータサイエンティストはストリーム内のデータに対し、変換や補強、結合、フィルタリング、操作を行っています。また、チームは機械学習ツールを追加して、インシデント対応から運用とシステムの健全性の確認、ワークフローオーケストレーションとアラートまで、あらゆる処理に活用しています。



Intel社の情報セキュリティチームは、高度な脅威を検出して対応するまでに、以前は数週間から数時間かかっていましたが、現在は数時間から数分にまで短縮されました。



先進的な企業の事例

Splunkは、Fortune 100に含まれる91社の企業をはじめ世界中の多くの組織で、データをアクションへとつなげる際にたちはだかる障壁の解消に貢献しています。

以下のセクションでは、各業界で活躍するデータの時代のパイオニアが、Data-to-Everythingプラットフォームを活用してどのようにシステムを保護し、運用を効率化して、イノベーションを加速させているかをご紹介します。

金融サービス

The background features a light blue topographic map with contour lines. A thick, wavy line in a gradient from red to orange flows across the lower half of the image. A dashed orange line follows a similar path, positioned slightly above the solid line.

業種
金融サービス

ソリューション
ログ管理
IT運用
セキュリティ
不正行為検出

auカブコム証券：サイバーセキュリティ対策を強化して価値あるデータソースを開拓

主な課題

auカブコム証券は、2017年にDDoS攻撃を受けた経験から、DevSecOpsの自動化によってサイバーセキュリティ対策を強化すると同時に、潜在的価値のあるダークデータを含む社内のすべてのデータを可視化して分析することを決断しました。

主な成果

Splunkで不審な動作の検出、アラートの送信、ログの分析を行い、修正措置の実行を自動化したことで、DevSecOpsの完全自動化という目標を達成しました。

三菱UFJフィナンシャルグループに属するauカブコム証券は、日本全国の110万以上の顧客にオンライン証券サービスを提供しています。同社ではSplunkを導入して、さまざまなクラウドサービスのログを単一のコンソールに集約しました。また、この豊富なログデータをマイニングおよび分析することで、パターンの予測、レポートの一元化、社内セキュリティ体制のリアルタイムの可視化も実現しました。さらに今日では、Splunkプラットフォームの使いやすさと優れた拡張性を活かして、膨大なデータをコスト効率の高い方法で管理すると同時に、外部の脅威インテリジェンスとの相関分析を取り入れて脅威を効果的に防止しています。

目次



Splunkによって未活用のデータ資産から最大限の価値を引き出すことにより、競争力を継続的に高めていけると期待しています”

— auカブコム証券株式会社システムリスク管理室長、石川陽一氏



データ活用の成果

煩雑な作業の自動化：チームのストレスを軽減して、戦略的な業務に注力

カスタマーエクスペリエンスの向上：重大な問題の調査と対応を迅速化

データの価値向上：構造化データと非構造化データの両方を分析して意思決定に活用

データ活用の成果

1兆ドル：強力なセキュリティを実現したインフラで1日あたり1兆ドルの取引を保護

1万台：分析によって予測された攻撃活動をすばやく検出し、サーバーやユーザーデバイスを含む1万台のエンドポイントを保護

1/3：プロアクティブな防御戦略によって国内GDPの1/3に相当する額の取引を保護



イングランド銀行： 1兆ドル分の取引を保護

主な課題

イングランド銀行は、リアクティブなSOCをプロアクティブなSOCに進化させる必要に迫られていました。また、新しい運用モデルの構築では、モデルをテクノロジーに合わせるのではなく、テクノロジーをモデルに合わせる必要がありました。

主な成果

Splunkプラットフォームを基盤として、大規模なデータマイニング、ログ分析、脅威インテリジェンスマッチング、予防的コントロールを実現しました。

1694年設立のイングランド銀行は、英国の中央銀行として、国内GDPの3分の1に相当する額の取引を処理しています。10人のセキュリティアナリストで構成される同行のSOCは、この大量の取引を可能にするインフラを保護する責任を担っています。Splunkの高速かつ反復的なサーチ開発を活用することで、幅広い分析方法を確立し、より柔軟かつ効率的に攻撃を検出できるようになりました。また、Splunkの導入に伴って防御戦略を見直し、攻撃自体ではなく、MITRE ATT&CKフレームワークに沿った攻撃活動の流れに着目することで、大きな成功を収めています。

Aflac社：Splunkの分析主導型 セキュリティプラットフォームを導入

主な課題

脅威の状況の急速な変化に直面したAflac社は、顧客、1万人の従業員、そしてブランドの評判を守るために堅牢なセキュリティプラットフォームを必要としていました。

主な成果

20種類以上のセキュリティテクノロジー間で脅威インテリジェンスを統合し、分析主導型のセキュリティアプローチを構築して、ROIを早期に達成しました。

Aflac社は、米国を拠点とする大手の任意保険会社です。セキュリティ脅威の猛攻にさらされた同社は、Splunkプラットフォームを導入して、社内の脅威インテリジェントシステムに組み込まれた20種類以上のセキュリティテクノロジー間で脅威インテリジェンスを統合しました。現在、6チームの約40人のスタッフが、社内SOCの中枢を担うSplunkを利用して、脅威の捕獲からインシデント対応、アプリケーションのセキュリティ、セキュリティの管理、不正行為の検出まで、幅広いセキュリティユースケースを管理しています。さらに、戦術的および戦略的機能を提供するこのシステムで自動化を実現したことにより、日々の脅威データの入力効率が向上し、ミスが減って、セキュリティに関するあらゆる判断にデータを利用できるようになりました。

[ビデオを見る](#)



契約者の方々の立場で考えれば、自分の個人情報を守るために保険会社が最善を尽くすことを期待するのは当然です。私たちは、自社の情報の管理だけでなく、お客様の個人情報の管理にも細心の注意を払っています。それを可能にしてくれるのがSplunkです”

— Aflac社情報セキュリティ担当バイスプレジデント、Ben Murphy氏

データ活用の成果

2週間：

わずか2週間で全社に導入

200万件：

半年間でセキュリティ脅威を200万件ブロック

40時間：

手動プロセスを置き換えたことで1カ月あたり40時間節約



業種
金融サービス

ソリューション
IT運用
インフラ監視
セキュリティ



データ活用の成果

2分以内： SplunkとVictorOpsを利用して、以前は4時間かかっていたMTTAを2分以内に短縮

38億件： コラボレーションとエンタープライズ機能の向上によって38億件のトランザクションを処理

1,500以上： モバイル監視とリアルタイムアラートによって1,500以上の信用組合をサポート



当社のIT部門はそれぞれがオンコールスケジュールを管理しています。VictorOpsによってすべての部門のマネージャーを1つのツールで連携させることで、互いの状況を把握すると同時に、同じエスカレーションスケジュールを共有しています。これによってアカウントビリティを強化できました”

— PSCU社IT運用マネージャー、Earl Diem氏

PSCU社：MTTAを短縮し、セキュリティを強化

主な課題

PSCU社では、1,500以上の信用組合が利用する製品とサービスの可用性を向上させるために、MTTAとMTTRを短縮すると同時に、コールチームの説明責任を強化する必要がありました。

主な成果

Data-to-Everythingプラットフォームを導入することで、MTTAとMTTRの短縮を実現し、スタッフがモバイルから監視機能にアクセスして、どこからでもサポートを提供できる体制を整えました。

米国最大の信用組合向け支払いサービス企業であるPSCU社の使命は、銀行に対する信用組合の競争力を高めることです。その実現のため、同社はSplunkを導入して、エラーの検出とインシデント対応を迅速化しました。また、Splunkプラットフォームに含まれるVictorOpsを利用して、オンコールチームが担当するインシデント管理のルーティングを自動化することで、MTTAを4時間から2分以内に短縮しました。現在は、Splunkの用途を拡大して、予測インサイトの取得や、ソフトウェアの新規リリースでの迅速なエラー検出など、新しいユースケースの活用に取り組んでいます。Splunkの統合プラットフォームを導入したことで、PSCU社は、イノベーションを加速させ、コラボレーションを活性化して、顧客満足度を高めるという使命を達成できました。

[ビデオを見る](#)

製造



Porsche社：インテリジェントなパフォーマンスと持続可能性を実現

主な課題

世界トップクラスのイノベーションとパフォーマンスを維持するために、Porsche社は先進的なソフトウェアを開発し、顧客中心のアプローチを取り入れた上質なデジタルエクスペリエンスを提供する必要がありました。

主な成果

Splunkプラットフォームを活用することで、Porsche Connectアプリからデジタルカスタマージャーニー、同社初の電動スポーツカーであるPorsche Taycanまで、あらゆる面でインテリジェントなパフォーマンスを実現しました。

Porsche社はSplunkと協力して、まず2015年に、ドライバーが車両をリモート操作するためのアプリ、Porsche Connectをリリースしました。今日では、Splunkプラットフォームをデジタルサポートに活用して、カスタマージャーニーに関するインサイトを取得し、問題をプロアクティブに防止して顧客に影響が及ぶのを防いでいます。また、Splunkを通じてインテリジェントなパフォーマンスと持続可能性を融合させ、同社初の電動スポーツカーであるPorsche Taycanの開発や、世界各国に展開する2,000以上の充電ステーションにも利用しています。

[ビデオを見る](#)



データはPorscheの原動力です。Splunkは、データを行動に変えるための重要なパートナーです”

— Porsche社テクノロジー / アクセラレーション / マネージメント部門責任者、Stefan Arnold氏

データ活用の成果

持続可能性向上のための高い目標： Porsche社初の電動スポーツカー、Porsche Taycanを開発

パフォーマンスの最適化： 世界各国に2,000以上のTaycan用充電ステーションを展開

デジタルカスタマーエクスペリエンスの向上： プロアクティブに監視し、カスタマージャーニーを詳細に分析

日光ケミカルズ： 安全なクラウド移行を達成

主な課題

日光ケミカルズは、2011年に発生した東日本大震災を契機に、事業継続計画の強化を目指して、クラウドへの移行を急ピッチで進めることになりました。

主な成果

Splunkを活用することにより、幅広いアプリケーションから生成されるセキュリティ関連のログの収集を効率化して、すべてのSaaS環境を包括的に可視化しました。

日光ケミカルズは、Splunk Cloudを導入して、統合プラットフォームにログを集約し、SOCでの監視を単一のノードに一元化しました。これにより、コストを最小限に抑えるとともに、SaaSアプリケーションを相関分析することでセキュリティを強化し、あらゆる業務でデータに基づく意思決定ができるようになりました。現在では、ログを24時間365日監視し、外部SOCサービスを利用して分析を行っています。これらの改善により、データを行動に変える基盤を構築し、予期しない異常値を自動的に検出して、イベントにリアルタイムに対応できるようになりました。



我々のような人数規模の企業だからこそ、Splunkの価値は高いものになるはずで、決して高いソリューションではないことがわかるはずです”

— 日光ケミカルズ情報セキュリティ管理室
東原雄一氏



データ活用の成果

クラウド運用の自動化：
複数のSaaSアプリケーションを包括的に可視化

セキュリティの強化：
脅威に対する防御を一元化し、プロアクティブに対応

効率の向上：
運用を簡素化し、システムメンテナンスの負担を軽減



データ活用の成果

豊富なインサイトの取得：数千のIoTデバイスの運用に関する履歴データとリアルタイムデータを分析

顧客満足度の向上：機械の稼働時間を拡大してサービスを改善

予測的メンテナンスの導入：トラブルシューティングを迅速化し、リソースの割り当てを最適化

Zepplin社：予測的メンテナンスを新たなレベルへ

主な課題

Zepplin社は、センサーデータの分析によるレンタル機械の遠隔監視を強化することで、ダウンタイムを削減すると同時に、サービス事業の規模拡大に対応する必要がありました。

主な成果

Splunkを活用することにより、ITシステムを最適化し、予測的メンテナンスと予測分析を取り入れて、トラブルシューティングの迅速化と、顧客が利用する機械の稼働時間拡大を達成しました。

建設、鉱業、農業などの産業向け機械を製造するZepplin社は、将来の成長を見据えてサービス事業を拡大し、建設業向けの新しいデジタルサービスモデルを展開しています。それに伴って社内のITインフラの規模が拡大し、複雑さが増しました。そこでSplunkプラットフォームを導入し、IT運用とIoTデバイスのユースケースを適用して、機械の故障を予測して問題に発展する前に修理を行うための先進的な統合ソリューションを構築しました。これにより、機械の稼働時間を拡大し、カスタマーサービスを向上させたうえ、社内のデータの価値を最大限に引き出せるようになりました。

ビデオを見る



Splunkという革新的なパートナーを得たおかげで、デジタル化における数々の課題を解決できました。これこそ私たちが目指していた未来です”

— Zepplin社システムエンジニア、Andreas Zientek氏

公共機関

The background features a light blue topographic map with contour lines. A solid red line starts from the bottom left, curves upwards, and then loops back down. An orange dashed line starts from the middle right, curves upwards, and then loops back down, crossing the red line.

業種
公共機関

ソリューション
IIT運用
セキュリティ
ビジネスインサイト

米国情勢調査局：米国史上最大の 国勢調査をデジタル化

主な課題

米国情勢調査局は、6,750億ドル以上の政府資金の配分を決めるため、2020年の国勢調査において、初のオンライン調査に対応しながら、米国居住者の完全かつ正確な人数を把握する必要があります。

主な成果

Splunkを活用してデータの保護、システムの統合、自宅訪問の削減、あらゆる意思決定でのデータ活用を実現し、米国史上最大規模の国勢調査に臨みます。

米国情勢調査局は、1790年以来10年ごとに、米国とその海外領土に住む人の正確な数を数えるという、民間を対象とした国内最大規模の事業を行っています。2020年の調査では、米国で初めて、電話調査や郵便調査以外にインターネットから回答できるオンライン調査を取り入れる予定です。

Splunkによって実現したデータの可視化は日常業務の重要なワークフローの一部になっただけでなく、局の幹部やセキュリティチーム、ITチーム、アプリケーションチームに、問題解決、意思決定、行動に役立つインサイトをリアルタイムで提供できるようになりました。また、SplunkをSOCとNOCの中核に据えることによってアップタイムが向上し、脆弱性をプロアクティブに特定して問題を迅速に解決できるようになったことで、安全性と信頼性を高めることができました。



Splunkのダッシュボードとレポートは部門間のハブとして中核を担います。これらを基に幹部が現状を把握して意思決定を行っています”

— 米国情勢調査局 国勢調査セキュリティ/データインテグリティ担当
シニアアドボケート、Atri Kalluri氏



データ活用の成果

2020年の国勢調査をより円滑に進めるため、**米国初のオンライン調査**を実施

標準化したダッシュボードとリアルタイムのインサイトを幹部に提供して、**情報に基づくよりの確な意思決定**を促進

52のシステムと35種類の事業で構成される複雑な局内インフラで、完全性、可用性、セキュリティコンプライアンスを確保

業種

公共機関

ソリューション

アプリケーション監視

インフラ監視

産業データとIoT

IT運用

予測分析

セキュリティ監視

国立点火施設(NIF)： クリーンエネルギーの可能性を解き 放ち、米国の核備蓄の安全を確保

主な課題

NIFは、データを保護し、設備のダウンタイムを防いで、科学者が実験を行える時間を増やすための安全な方法を模索していました。

主な成果

ネットワークデータ、認証データ、ホストデータをSplunkに取り込むことでセキュリティの課題を解決した後、これらのデータを他のさまざまなソースと統合して、施設全体をリアルタイムで可視化しました。

米国カリフォルニア州のローレンスリバモア国立研究所(LLNL)にある国立点火施設(NIF)は、世界最大のレーザー核融合施設です。核備蓄の管理や科学的な発見といったNIFのコアとなるミッションを果たすために、科学者やエンジニアは、安全で信頼性の高いITインフラを必要としています。NIFの巨大なレーザー設備を支える66,000以上の制御ポイントは制御システムによって管理されており、現在はその中核でSplunk EnterpriseとSplunk IT Service Intelligenceが活用されています。これによって研究所のエンジニアは、アプリケーションデータやセンサーデータ(レーザーの電圧、温度、圧力など)を含むあらゆるデータに基づいてイベントに対応できるようになりました。

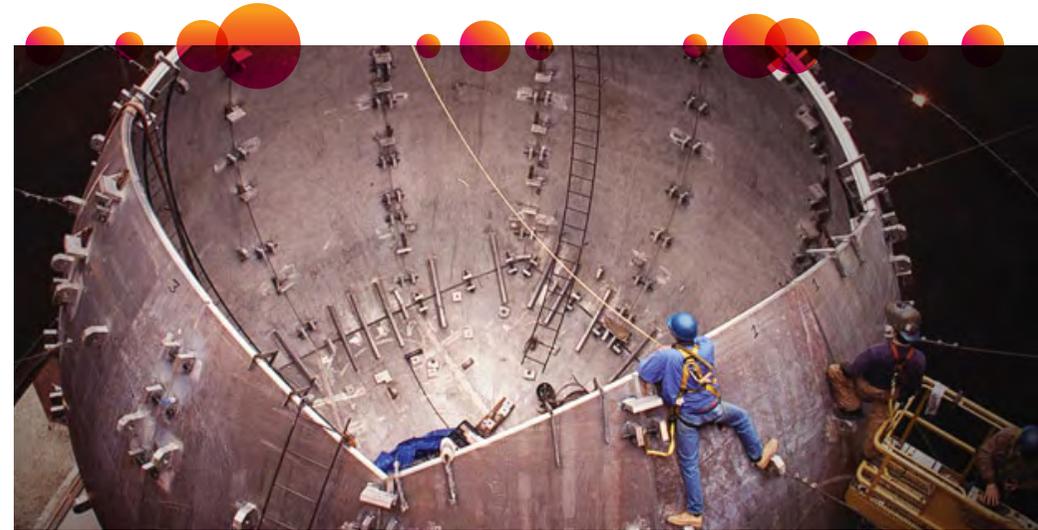
[ビデオを見る](#)

目次



NIFが取り組む複雑な問題についてより多くを学び、
解決に近付くためにはデータが非常に重要です”

— NIFオペレーションマネージャー、Bruno Van Wonterghem氏



データ活用の成果

66,000以上： ITインフラに加えて66,000以上のIoTデバイスをSplunkで監視

2倍： アップタイムとデータの完全性を維持したまま、レーザー照射実験の回数を年間400回に倍増

192本： リアルタイムのインサイトを活用して、人間の髪の毛よりも細い192本のレーザー光を正確に照射

小壳



業種
小売

ソリューション
ビジネスインサイト
IT運用
セキュリティ



データ活用の成果

第1位： 世界でのピザの売上

16チャンネル： 展開しているデジタル注文のチャンネル数は16種類。米国での売上の65%を占め、そのすべてをSplunkで監視、保護、最適化

300万枚： 世界の100万人の顧客に1日あたり300万枚のピザを販売



当社では、ほぼすべてのチームが何らかの形でSplunkを使用しています。1つのコンポーネントの健全性を確認するためではありません。販売データや収益などを絡めた全体像を把握するためです。そうすることで、自分たちの意思決定が全体のビジネスにどう影響するかを確認できます”

— Domino's社オペレーショナルインテリジェンスアーキテクト、Mike Cox氏

Domino's社：秘策はインデックス化

主な課題

Domino's社は、顧客の期待の変化に適応するために、スピード、品質、利便性に対する顧客の欲求を満たす信頼性の高い最新のデジタルエクスペリエンスを提供する必要性がありました。

主な成果

オムニチャネルでパーソナライズされたカスタマーエクスペリエンスを提供するために、Splunkですべてのトランザクションを監視し、データを保護して、システムの稼働時間をプロアクティブに確保するだけでなく、投資、予算、効率化に関する重要な意思決定にデータを活用できるようになりました。

Domino's社は、ピザ販売の世界的リーダーです。同社の成功の大きな要因は、バックエンドのITとセキュリティの運用から、注文や配達といった顧客との日々のやり取りに至るまで、あらゆるものにデータファーストのアプローチを採用していることです。その基盤となるテクノロジーの信頼性を高めるため、Splunkを利用して、同社が展開するWebサイト、アプリケーション、世界各国の16,300の店舗で処理されているすべてのトランザクションに関するインサイトをリアルタイムで取得しています。このリアルタイムのインサイトを活用することで、システム、顧客データ、ブランドの評判を守ると同時に、定型作業を自動化して、セキュリティアナリストが分析作業に集中できるようにしています。さらに、新しい機能やサービスのリリース前に、Splunkで機能を最適化して顧客に提供できるレベルであることを確認することが、Domino's社のイノベーションと世界トップの地位の確保につながっています。

[ビデオを見る](#)

REI社：Splunk CloudとAWS で境界保護を実現

主な課題

アウトドア用品を販売するREI社は、アマゾン ウェブ サービス(AWS)へのアプリケーションの移行に伴って、Amazon Virtual Private Cloud (VPC)の境界保護に対応したプラットフォームを必要としていました。

主な成果

Splunk CloudとAmazon GuardDutyを導入することで、十分なコンテキストを獲得し、分析に基づく意思決定を行って、リスクを最小限に抑えながら顧客向けサービスの可用性を確保することができました。

顧客サービスと高いブランド評価で知られるREI社は、アプリケーションをアマゾン ウェブ サービス (AWS)へと移行するにあたり、セキュリティ体制を拡張してAmazon Virtual Private Cloud (VPC)の境界保護を実施したいと考えました。以前は、AWSを含む調査ワークフローがなかったため、関連データを手動で抽出して分析するという時間のかかるプロセスで調査を行っていました。現在は、セキュリティ関連のすべてのデータをSplunk Cloudに集約したことで、さまざまな問題解決や意思決定に分析インサイトを活用できるようになり、組織全体で高い成果をあげています。



REIは自社のデータを保護したいと考え、そのためにリソースと時間を費やしています。Splunk Cloudの導入は実にすばらしい投資でした。おかげで、Splunk Cloudの機能を利用できるだけでなく、時間の節約にも役立っています”

— REI社インフラおよびクラウドサービス担当マネージャー、David Bell氏



データ活用の成果

AWSクラウドへの移行中の
セキュリティをエンド
ツーエンドで可視化

DevSecOpsの変革を通じ
てセキュリティ中心の考え
方を定着

潜在的な脅威に関するリ
アルタイムのインサイトを
取得

アシックス：インシデントの 管理と解決を自動化し、 ログをリアルタイムで分析

主な課題

アシックスは、サイバー脅威やインシデントに発生時点で対応したいと考えましたが、そのためには、複数のシステムで生成されたログを管理、相関付け、分析するための中央プラットフォームが必要でした。

主な成果

Splunkプラットフォームを利用して、すべてのシステムのログデータを集約し、統合されたプラットフォームで分析することで、運用に関するインサイトをリアルタイムで取得し、運用全体を可視化しました。

アシックスは、自動化を進めて人間の介入を最小限に抑えながら24時間体制でデータセンターを監視し、セキュリティの脅威や運用上のインシデントをすばやく検出して対応しています。ログ管理を自動化したことで、担当チームは貴重な時間を節約し、より付加価値の高い業務に集中できるようになりました。今日では、インテリジェントスポーツテクノロジーを通じて健康的なライフスタイルを促進するために、SplunkのData-to-Everythingプラットフォームで得られるインサイトを幅広く活用しています。

データ活用の成果

リアルタイムの可視化：ログ分析を自動化してインシデントと脅威を可視化

社会的説明責任の強化：セキュリティと透明性を向上

効率と生産性の向上：運用を合理化



Splunkプラットフォームは、汎用的な分析ツールとして当社の運用を効果的にサポートし、大きなメリットをもたらしています。Splunkソリューションはスポーツ業界を活性化してくれると期待しています”

— アシックスグローバルセキュリティリード、谷本重和氏



テクノロジー



Intel社：データインテリジェンスの革新によりセキュリティ体制を刷新

主な課題

Intel社は、データ中心のビジネスモデルへの転換を図り、データの価値を高め、その脆弱性を低減する必要がありました。

主な成果

SplunkとApache Kafkaを基盤とするCyber Intelligence Platform (CIP)により、Intel社のInfoSecチームに可視性がもたらされ、情報セキュリティ管理が一変しました。

Intel社のInfoSecチームは、包括的な「多層防御」戦略を策定し、管理する必要がありました。そして、さまざまなレベルで脅威防止/検出ツールを自動化した結果、社内環境の99%の脅威に対処できるようになりました。それでもまだ、チームが「1%の捕獲」と呼ぶ、高度な脅威の検出は不十分でした。その対策として生み出されたのが、同社のCyber Intelligence Platform (CIP)です。これはSplunkやApache Kafkaなどの最新鋭テクノロジーを中心としたプラットフォームです。CIPを活用することで、InfoSecチームは共通の画面で状況を可視化し、豊富なコンテキストを得ることができるようになり、導入の効果を向上させ、平均修復時間を短縮しました。

[ビデオを見る](#)



データがすべてです。すべてはデータに基づきます。...データは従来型の産業もクラウド生まれの産業も変貌させています。データからインサイトを引き出せるかどうか、ビジネスの勝敗を分けるのです”

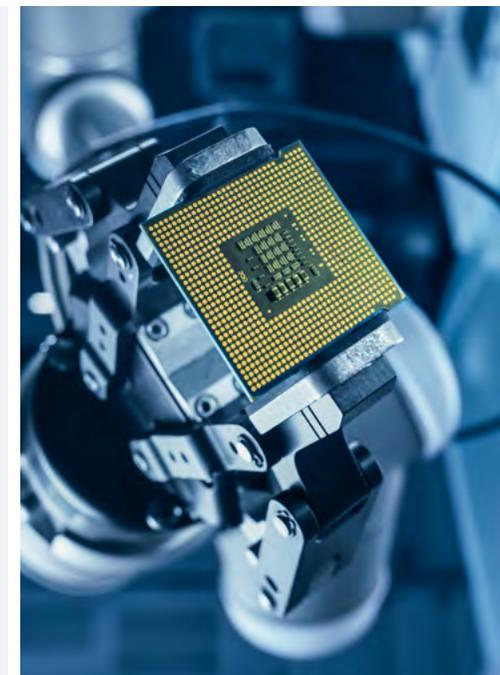
— Intel社最高情報セキュリティ責任者、Brent Conran氏

データ活用の成果

データ分析を迅速化して、高度な脅威の検出時間を**数日～数週間から数分～数時間に短縮**

サイバーセキュリティに対する**コラボレーション型の統合的なアプローチ**を確立

ストリーム処理と機械学習ツールにより、セキュリティ運用やシステム健全性といった新しい領域にもビジネス価値を提供



業種
テクノロジー

ソリューション
ログ管理
セキュリティ
不正行為検出

Lenovo China社：セキュリティ運用を強化し、行動につながるインサイトを取得

主な課題

Lenovo社は、1日に生成されるデータが2テラバイトに達する中、脅威をすばやく特定して対応するための、大規模環境に対応した信頼性の高いセキュリティソリューションを必要としていました。

主な成果

Splunkプラットフォームを導入したことで、データから最大限の価値を引き出せるようになると同時に、セキュリティ運用のスピード、信頼性、効率が向上しました。

5万7,000人の従業員を抱え、180の市場でビジネスを展開するグローバルテクノロジー大手のLenovo社では、その成長規模に合わせて運用を継続的に拡大する必要があります。Splunkの導入前は、Lenovo社のセキュリティエンジニアはさまざまなシステムログから情報を収集し、相関付けを行い、結果を統合したうえでさまざまな形式で提示する必要がありました。この手間のかかるプロセスはエンジニアから多くの時間を奪い、トラブルシューティングは複雑化し、解決まで時間がかかっていました。Splunkの導入により、さまざまなデータソースを統合して、精度の高いリアルタイムデータを取得し、監視と分析を一元化したことで、ワークフローを合理化し、生産性を向上させることができました。Splunkは、導入の課題を解決してクラウド移行を加速させるためにも役立っています。

目次



データ活用の成果

ビジネスの俊敏性を向上：
リアルタイムのログ管理を活用

インシデント対応の迅速化：
セキュリティ監視を強化

運用効率の向上



Splunkソリューションの賢く信頼性のあるパフォーマンスを利用し、生データから行動につながる情報を引き出して、詳細な分析と効果的なセキュリティ監視を行っています。これにより、運用に関するリアルタイムのインサイトを入手できるようになりました。Splunkを選んで正解でした。今後さらにSplunkとの連携関係を深めていきたいと思っております”

— Lenovo China社ITセキュリティディレクター、Yu Sheng Li氏



データ活用の成果

データの透明性が向上：3カ国に分散するチームのコラボレーションと運用を強化

時間節約：障害の調査にかかる時間を**数週間から数分**に短縮し、効率とアップタイムを向上

可視化と予測：データを実用的な分析につなげ、可視化機能と予測機能を強化

スクウェア・エニックス：データ主導で可視化を実現してトラブルシューティングにかかる時間を数秒に短縮

主な課題

運用の状況を把握できないことや、手動で時間のかかるプロセスに悩まされていたスクウェア・エニックス社は、データ主導型の分析プラットフォームを必要としていました。

主な成果

Splunkプラットフォームを導入して効率を向上させ、ログ管理を一元化したことで、トラブルシューティングにかかる時間が数週間から数秒に短縮されました。

オンラインゲームに対するユーザーの要求を満たすことは簡単ではありません。特に、「ファイナルファンタジー」をはじめとする人気ゲームを手掛ける一方で、サーバーの健全性を手動で監視していたスクウェア・エニックス社にとって、それは難しい課題でした。リアクティブなトラブルシューティングからプロアクティブなリスク管理に転換を図る同社の変革において、Splunkは重要な役割を果たしました。不測の事態に慌ててログを読み込み調査を行っていた以前とは異なり、現在では、ログ分析を自動化して異常を検知し、問題に発展する前に対応できるようになりました。手動で行っていた面倒なレポートも、シンプルなダッシュボードやグラフに置き換えたことで、データのアクセス性も向上しました。



Splunkはオペレーショナルエクセレンスに不可欠です。Splunkによってログ管理の可視化のボトルネックを解消したことで、テクノロジースタックの全体像を把握し、リアルタイム分析から卓越した価値を引き出せるようになりました”

— スクウェア・エニックス情報システム部、掛札純平氏

The background features a light blue topographic map with contour lines. A path of colored lines starts from the bottom left, moving right and then curving upwards and right. The path is composed of a solid magenta line, a solid orange line, and a dashed orange line. The text '通信/公益事業' is centered horizontally across the middle of the image.

通信/公益事業

業種

エネルギーおよび
公共事業

ソリューション

IoTと産業データ
IT運用



私たちにとってSplunk for Industrial IoTは、現場に関するあらゆる情報を非常にすばやく提供して、データに基づく意思決定を可能にしてくれる点で重要です。私たちは、停電に見舞われている顧客数を迅速に把握する必要があります”

— Puget Sound Energy社
エンタープライズテクノロジーソリューションアドバイザー、
Chris Perez氏

Puget Sound Energy社：リアルタイムデータを利用して対応を迅速化、設備に関するインテリジェンスを活用してコストを削減

主な課題

Puget Sound Energy (PSE)社では、レガシーソフトウェアを使用し、リアルタイムデータを収集できないことが、顧客に影響を及ぼす停電への対応の遅れにつながっていました。

主な成果

Splunkで収集した実用的なインサイトを利用して、停電時に優先順位を適切に判断し、迅速に対応できるようになりました。また、設備に関するインテリジェンスを活用することで、コラボレーションの強化とメンテナンスコストの削減も達成しました。

PSE社では、停電が発生したときに、影響を受ける地域と電力供給が停止した顧客をすばやく把握する必要があります。Splunkを導入したことで、停電にプロアクティブに対応し、電力復旧に関する最新情報を提供できるようになりました。その結果、コールセンターへの問い合わせが減り、顧客満足度が向上しました。現在では、SplunkダッシュボードとSplunk Augmented Reality (AR)を活用して、さまざまなデータソースを常に可視化することで、問題への対応力を強化し、スタッフ派遣の優先順位を最適化しています。

また、PSE社は社員がどこにいても容易にコラボレーションできる体制を作りたいと考えていました。そこで、Splunkによって、備え付けの60台の機器のデータを含む会議室データにリアルタイムでアクセスできるようにしました。これによって機器の問題を迅速に解決し、メンテナンスコストを削減しています。

ビデオを見る

目次

データ活用の成果

50万ドル：分析ソリューションの統合により50万ドルのコストを削減見込み

13万5,000ドル：レガシーツールの廃止により13万5,000ドルの年間ROIを達成

150カ所：70拠点の150カ所の通信施設で効率化を実現

旅行/輸送

A topographic map with contour lines in light blue. Overlaid on the map are three distinct paths: a solid magenta line starting from the bottom left and curving towards the center; a solid orange line starting from the center and curving towards the right; and a dashed orange line starting from the center and curving towards the right, following a similar path to the solid orange line but at a higher elevation. A faint dotted line also traces a path across the map.

業種

旅行および輸送機関

ソリューション

IT運用
セキュリティ
ビジネスインサイト



データ活用の成果

Splunkプラットフォームを日常的に利用するユーザー数が
12人から100人以上に増加

MTTRを**数時間からリアルタイムに短縮**

プロアクティブな監視によって**カスタマーエクスペリエンスが向上**

Hyatt社：MTTRを短縮するとともに、開発者にイノベーションの時間を確保

主な課題

Hyatt社では、700のホテルとそのサーバー間でシームレスなカスタマーエクスペリエンスを提供するために、IT運用の信頼性の向上、アップタイムの確保、データを監視して活用するための統合プラットフォームの導入が求められていました。

主な成果

Hyattグループ全体で、予約からチェックインまでリアルタイムのインサイトを得ることで、トラブルシューティングを効率化して問題をよりすばやく解決できるようになり、カスタマーエクスペリエンスが向上しました。

Hyatt社は、ゲストにシームレスで楽しいエクスペリエンスを提供するために、統合的なソリューションを導入して、700台のサーバーでアプリケーションデリバリーを改善し、トラブルシューティングを効率化する必要がありました。Splunkの導入前は、オンラインチェックイン機能の信頼性が低く、開発者は問題を調べるために複数のサーバーに個別にログインして調査ツールを実行しなければならず、原因究明に数時間かかっていました。また、問題が特定のサーバーでのみ起きているのか複数のサーバーで起きているのかを判断する手段もありませんでした。Splunk導入後は、サーバーの問題をすばやくトラブルシューティングできるようになり、問題の解決時間が短縮され、カスタマーエクスペリエンスが改善されました。



Splunkを使用すれば、当社のアプリケーションの健全性を把握できます

— 戦略システムイノベーション部門アプリケーション開発マネージャー、César Mendoza氏

業種

旅行および輸送機関

ソリューション

IT運用

IoTと産業データ

ガトウィック空港：Splunkで運用インサイトを活用

主な課題

ガトウィック空港では、さまざまなソースから収集した大量のデータを相関付けて、空港の運用状況をリアルタイムで詳細に把握する必要がありました。

主な成果

Splunkを導入したことで、より多くのチームがデータを活用できるようになり、効率の向上とコストの削減を達成しました。また、Splunk Cloudの24時間365日のサポートと稼働率100%のSLAも活用しています。

年間4,600万人の乗客が利用するガトウィック空港は、世界で最も効率の高い単一滑走路空港です。ロンドン地域には他にも多くの空港があり、滑走路が1本しかないガトウィック空港は小規模な部類に入りますが、それでも航空機の発着数は1時間あたり最大55回にのぼります。そのため、1本の滑走路をどれだけ効率的に運用できるかが大きな鍵を握ります。Splunkソフトウェアを導入したことで、より多くのチームがリアルタイムの情報を活用できるようになり、効率が向上し、定時運行率が改善した結果、規模の限界を克服して目標を達成することができました。

[ビデオを見る](#)

目次



細かいところまで目が行き届くようになりました。保安検査場の任意の個所に注目し、そのパフォーマンスを完全に把握することもできます。データを基に、「昨日よりも定時到着率を向上させるには?」、「赤字の原因は?」といった問いを検証できます”

— IT開発スペシャリスト、Alex Webber氏、Paul Bannister氏



データ活用の成果

世界第1位： 単一滑走路空港としての効率の高さを実現

95%： 乗客の95%がセキュリティ検査を5分以内に通過

945本： 1日あたり945本の航空機の発着を実現(年間4,600万人の乗客が利用)

業種
旅行および輸送機関

ソリューション
IT運用
セキュリティ
IoTと産業データ



データ活用の成果

95% : 95%の乗客が保安検査を5分以内に通過

世界第1位 : 空港Wi-Fiとしては世界最速を実現。
さらに空港内全域をカバー

1億5,000万個 : 200のデータポイントを監視
して年間1億5,000万個の手荷物を処理

ドバイ空港： Splunkを利用して未来に進む

主な課題

世界最多の利用者数を誇るドバイ空港は、物理的な面積を拡張する余裕がなく、ターミナルの面積やインフラ、滑走路を追加せずに空港のキャパシティを拡大する必要がありました。

主な成果

センサーデータを活用してキャパシティを拡大すると同時に、保安検査の待ち時間を5分以内に短縮し、荷物量を予測して効率を向上させることで、乗客のエクスペリエンスを向上させました。

年間1億人が利用するドバイ空港は、世界で最も多忙な国際空港です。Splunkを使用してセキュリティゲートの金属探知機を監視して、乗客の列の流れが効率的になるパターンを特定することで、95%の乗客の保安検査を5分以内に完了するという目標を達成しました。ITチームは、空港内のすべてのWi-Fiアクセスポイントをリアルタイムで監視して、輻輳や不正なホットスポットを検出し、すばやく対処しています。

手荷物システムでは、1個の荷物から200以上のデータポイントが生成され、そのすべてがSplunkで監視されて、目的地に到着したことが確認されます。また、効率をさらに向上させるため、荷物データと運用データを組み合わせて荷物の量を予測し、それに応じてリソースの割り当てを最適化しています。

[ビデオを見る](#)



当社ではSplunkを使用して数百万ものお客様の旅行体験を飛躍的に向上させています”

—ドバイ空港テクノロジーおよびインフラ担当エグゼクティブバイスプレジデント、Michael Ibbitson氏

業種
旅行および輸送機関

ソリューション
IT運用
IoTと産業データ

Sapura社：Splunkを使用して船舶、沿岸、海底のIoTデータを統合

主な課題

安全基準を守り、環境災害を防ぐために、複雑化したシステムやインターネットに常時接続する船舶をリアルタイムで可視化して監視する必要がありました。

主な成果

Splunkプラットフォームを使用して海中の構造物にデータ主導のアプローチを取り入れることで、安全基準を強化しながら運用効率を向上させることに成功しました。

船上ではSapura社の作業班が、顧客や関係他社の技術者、エンジニア、整備士、キャプテン、オペレーターとともに水深3,000メートルにパイプラインを敷設するための複雑な作業を行っています。洋上データセンターの役割を担うこの船団をリアルタイムで監視し、トラブルシューティングを行うことが同社の課題でした。しかし最近までは、サイロ化されたシステムで各データストリームを個別に収集していました。現在では、船上の作業班がSplunkダッシュボードを活用して、重要な状況を監視し、パイプライン敷設の基幹システムの状態を可視化しています。



安全基準の強化、業務パフォーマンスの向上、お客様へのより優れたソリューションの提供に取り組む当社にとって、Splunk for Industrial IoTは、組織全体のデータ活用を強力に後押しする優れたソリューションです”

— ブラジルSapura社CEO、André Merlino氏



データ活用の成果

ROIが大幅に向上

安全で生産性の高いオペレーションの実績が向上

複雑な産業システムをリアルタイムで可視化すると同時に資産のダウンタイムを削減

あらゆることにデータを活用する
組織の成功事例について、
営業までお問い合わせください。